

平成28年度 第2回
徳島県後発医薬品適正使用協議会

日 時 平成29年2月2日（木）

午後1時30分から

場 所 徳島グランヴィリオホテル

2階 蓬莱

一 次 第 一

1 開 会

2 課長あいさつ

3 議事等

(1) 報告

- ・ 県民への後発医薬品に関するアンケート調査結果について
- ・ 医師会及び薬剤師会に対する後発医薬品に関するアンケート調査結果について
- ・ その他の取組について

(2) その他

4 閉 会

会 議 資 料

	ページ
資料1 県民への後発医薬品に関するアンケート調査結果について	・・・ 1
資料2 医師会に対する後発医薬品に関するアンケート 調査結果について	・・・ 17
資料3 薬剤師会に対する後発医薬品に関するアンケート 調査結果について	・・・ 28
資料4 後発医薬品に係る講習会実績（平成28年度）	・・・ 40

平成 28 年度後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート調査結果

実施機関：平成 28 年 9 月 1 日～14 日（オープンとくしま e モニターアンケート）
平成 28 年 10 月 30 日（くすりと健康フェア来場者）

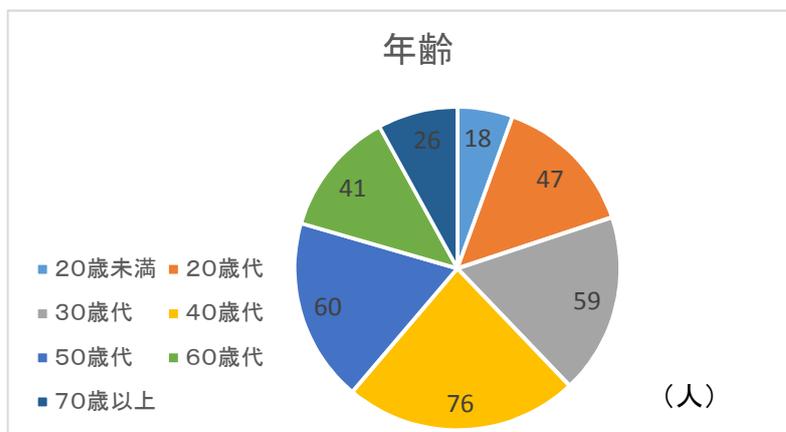
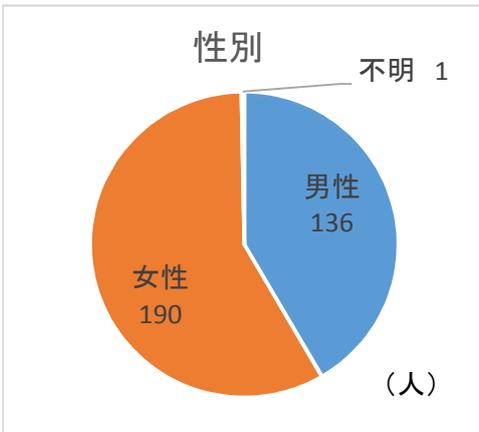
対 象： 県民

性別

男性	女性	不明	合計
136	190	1	327

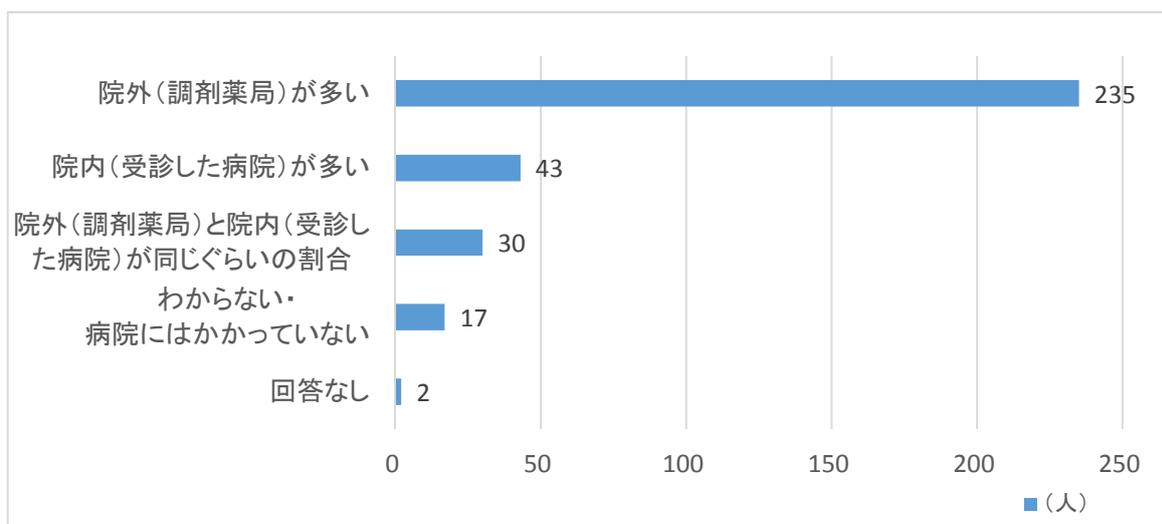
年齢

20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
18	47	59	76	60	41	26



問1 普段、病院で診察を受けた際に、お薬は院外（調剤薬局）、院内（受診した病院）のどちらでもらうことが多いですか。

	人数	割合(%)
院外（調剤薬局）が多い	235	71.9%
院内（受診した病院）が多い	43	13.1%
院外（調剤薬局）と院内（受診した病院）が同じぐらいの割合	30	9.2%
わからない・病院にはかかっていない	17	5.2%
回答なし	2	0.6%
合計	327	100.0%



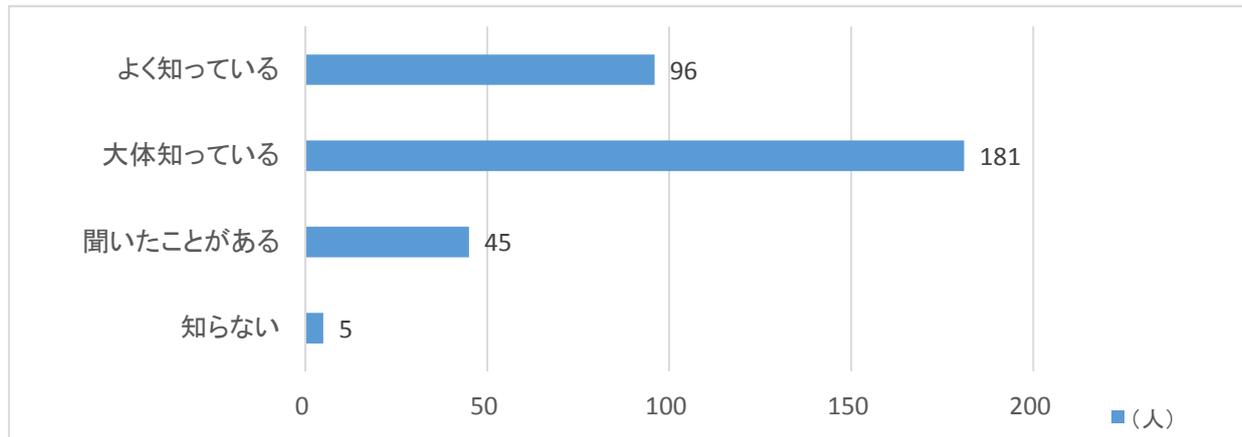
病院受診時、薬は、院外（調剤薬局）でもらわれている人が約7割、院外と院内が同じぐらいの人を含めると8割を超えている。

問2 後発医薬品（ジェネリック医薬品）を知っていますか。

	人数	割合 (%)
よく知っている	96	29.4%
大体知っている	181	55.4%
聞いたことがある	45	13.8%
知らない	5	1.5%
合計	327	100.0%

参考H27

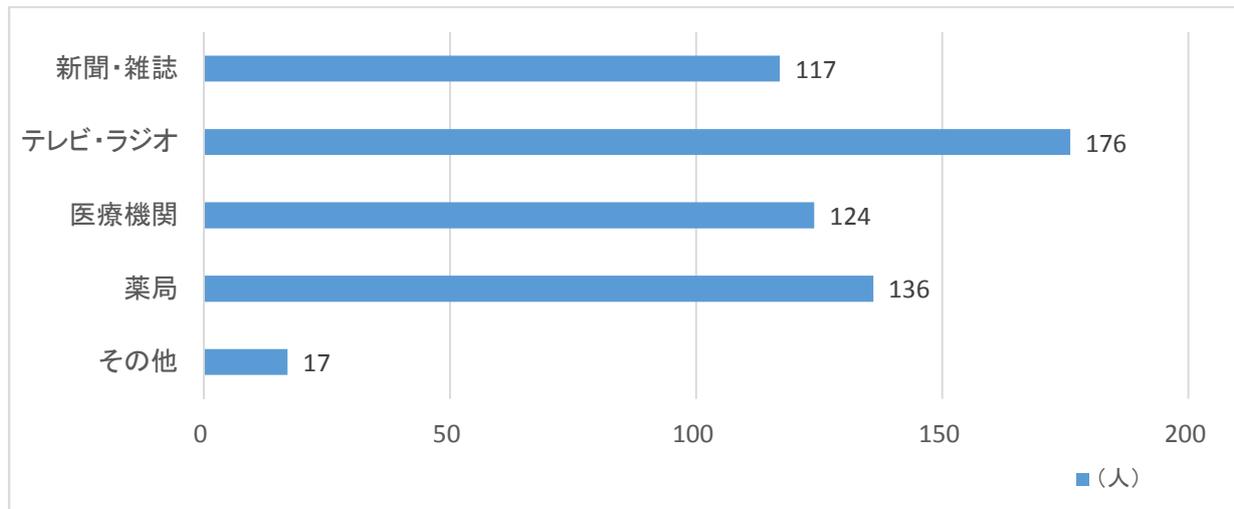
割合 (%)
26.9%
55.4%
17.1%
0.6%



後発医薬品を「よく知っている」「大体知っている」と回答した人の割合は、平成27年度の状況とあまり変化がなかった。

問3 後発医薬品(ジェネリック医薬品)のことをどこでお知りになりましたか。
(複数回答)

	人数
新聞・雑誌	117
テレビ・ラジオ	176
医療機関	124
薬局	136
その他	17
合計	570



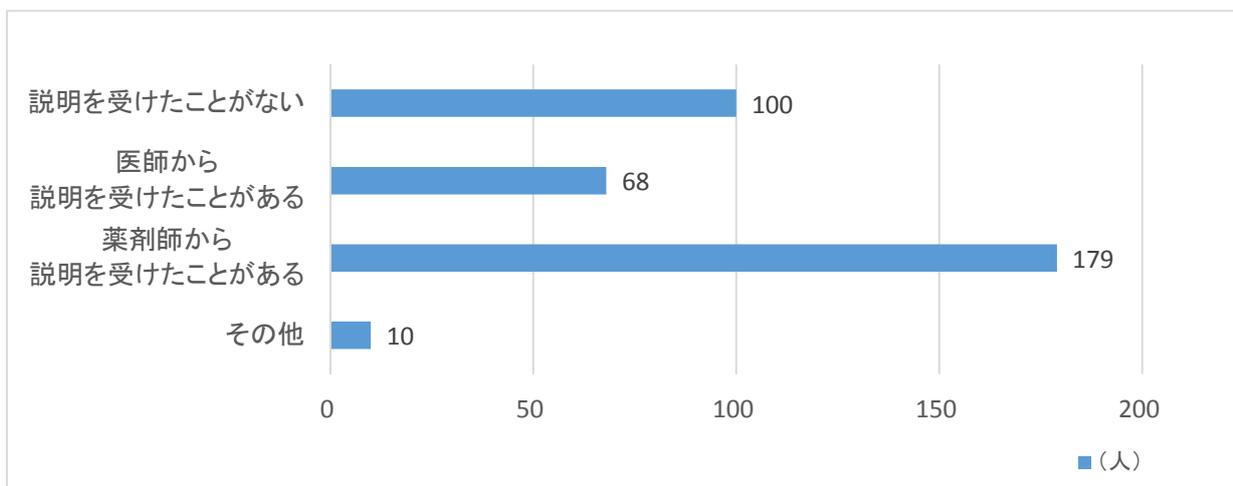
後発医薬品に関する情報は、医療機関や薬局だけでなく、マスコミから情報を得ている人が多い。

問4 これまでに後発医薬品(ジェネリック医薬品)について説明を受けたことがありますか。(複数回答)

参考H27

	人数
説明を受けたことがない	100
医師から説明を受けたことがある	68
薬剤師から説明を受けたことがある	179
その他	10
合計	357

	割合(%)
ある	40.1%
ない	59.9%
合計	100.0%



◆その他の意見

「学校の講義」「テレビ」「医療に携わっていた」「医療機関でもらうパンフレット」
 「自分から、説明を求めたことがある。説明を求めないと医師、薬剤師からの説明は先ずない。よく指導すべきである。」「役場からの文書」等

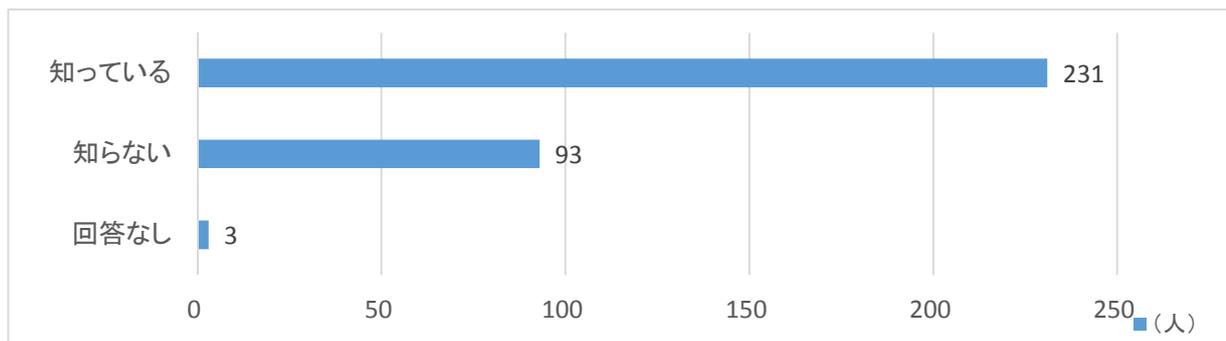
後発医薬品については、薬剤師から説明を受けたことがあると答える人が最も多い。一方、「説明を受けたことがない」と答える人も回答者全体の約3割いる。

問5 処方せんによっては、薬局で、後発医薬品に変更できることを知っていますか。

	人数	割合 (%)
知っている	231	70.6%
知らない	93	28.4%
回答なし	3	0.9%
合計	327	100.0%

参考H27

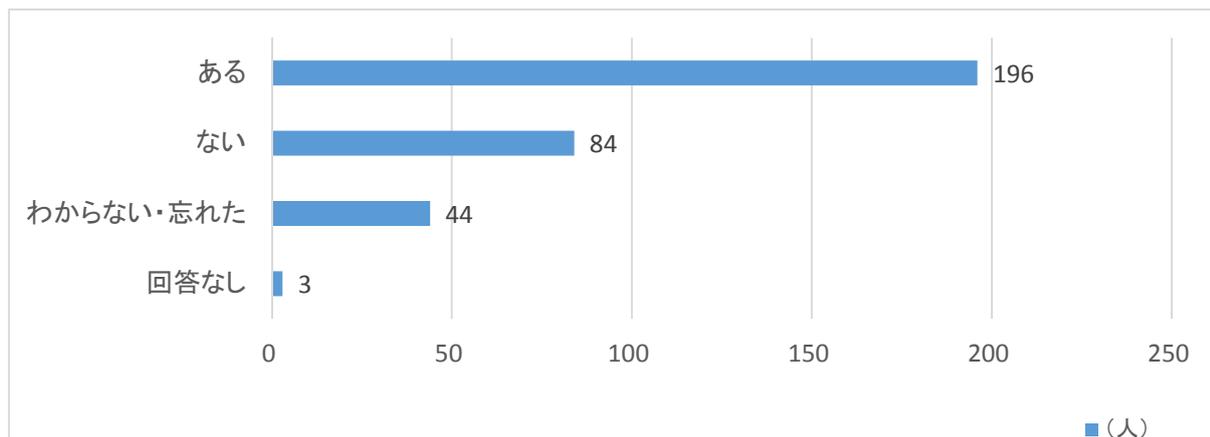
割合 (%)
77.9%
22.1%
0.0%
100.0%



薬局で後発医薬品に変更できることを「知っている」と答えた人の割合は、前年度より、若干減少している。問2の「後発医薬品」という言葉の認知度の結果も踏まえると、県民の約2～3割程度に対しては、周知や啓発が進んでいない状況にあると思われる。

問6 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使ったことがありますか。

	人数	割合(%)
ある	196	59.9%
ない	84	25.7%
わからない・忘れた	44	13.5%
回答なし	3	0.9%
合計	327	100.0%

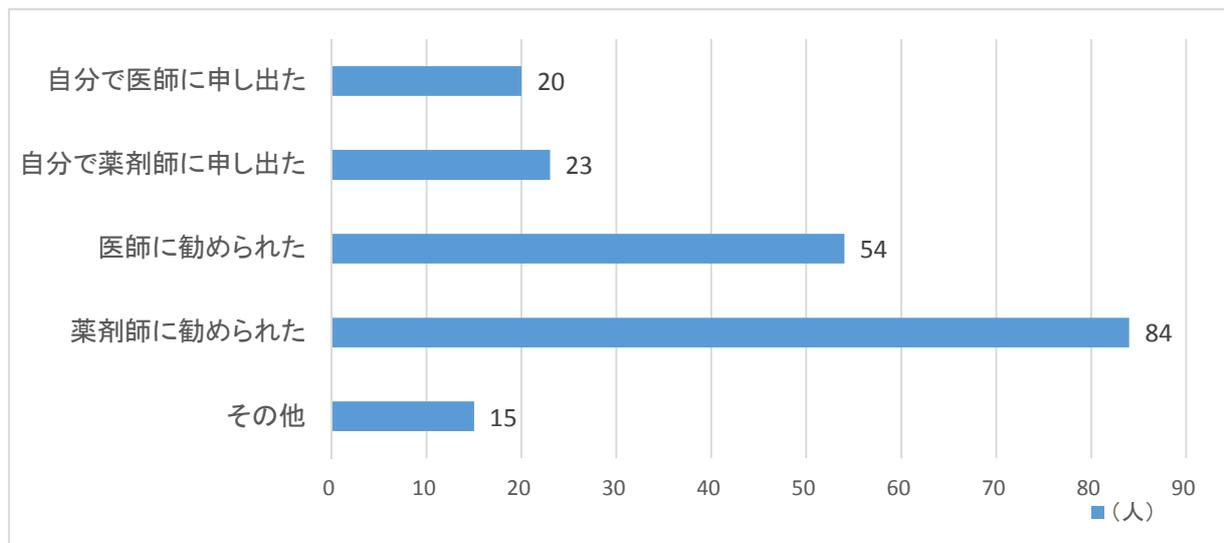


後発医薬品を使用したことがあると答えたは約6割いることから、問2及び問5の結果も踏まえると、後発医薬品を知っている人の多くが使用経験があると思われる。

問7 (問6で「ある」と答えた方へ)

後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使ったきっかけを1つ選んでください。

	人数	割合(%)
自分で医師に申し出た	20	10.2%
自分で薬剤師に申し出た	23	11.7%
医師に勧められた	54	27.6%
薬剤師に勧められた	84	42.9%
その他	15	7.7%
合計	196	100.0%

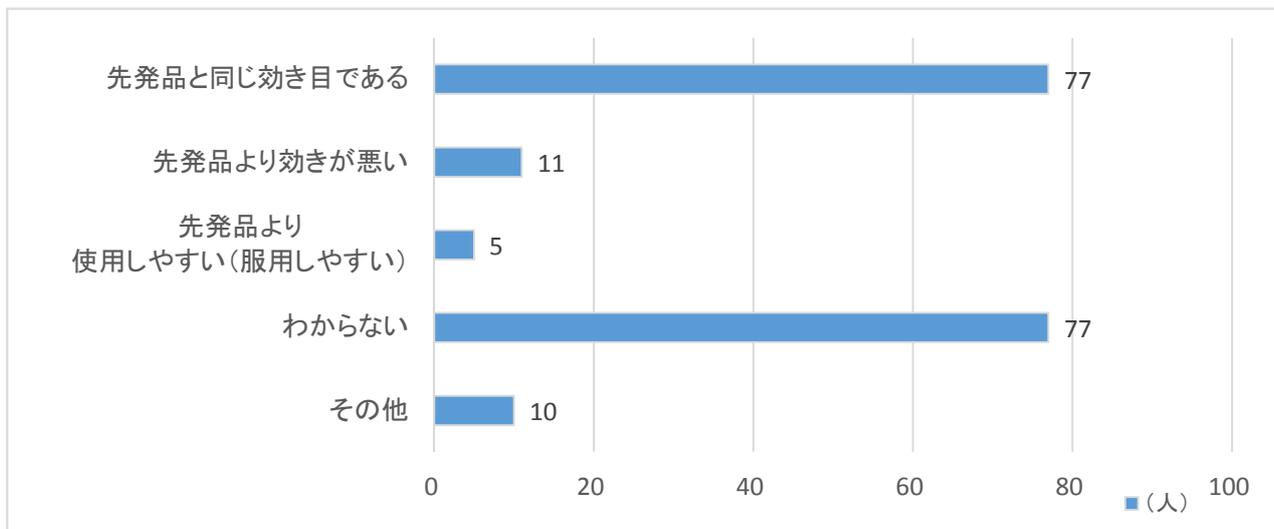


後発医薬品を使用したきっかけは、薬剤師の勧めが最も多い。

問8 (問6で「ある」と答えた方へ)

後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使った際の感想についてお教えてください。
(複数回答)

	人数
先発品と同じ効き目である	77
先発品より、効きが悪い	11
先発品より、使用しやすい(服用しやすい)	5
わからない	77
その他	10
合計	180

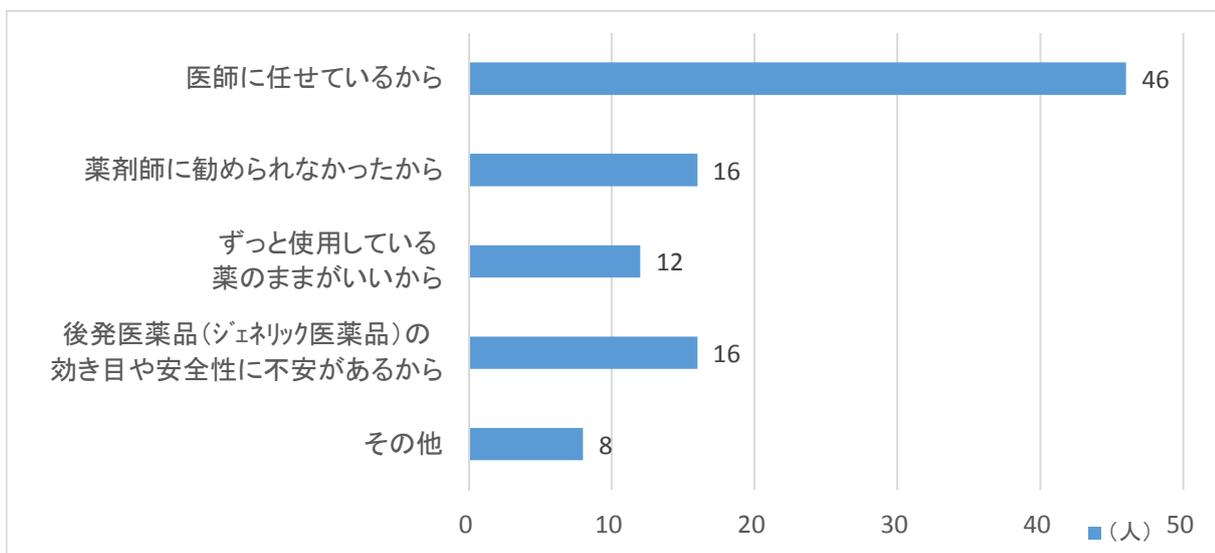


後発医薬品を使用した感想としては、「先発品と同じ効き目である」「わからない」と答える人が多く、後発医薬品が「先発品より使用しやすい」と答える人はわずかであった。

問9（問6で「ない」と答えた方へ）

後発医薬品（ジェネリック医薬品）を使ったことがない主な理由は何ですか。
最もあてはまるものを1つ選んでください。（複数回答）

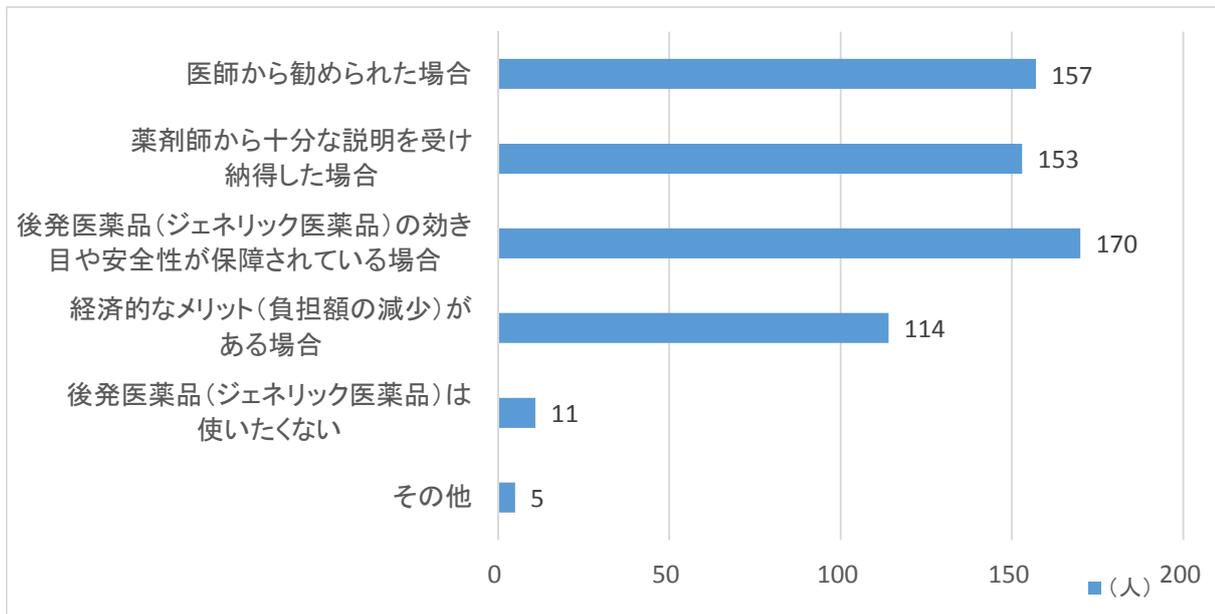
	人数
医師に任せているから	46
薬剤師に勧められなかったから	16
ずっと使用している薬のままだいいから	12
後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効き目や安全性に不安があるから	16
その他	8
合計	98



後発医薬品を使ったことがない理由としては、「医師に任せているから」との答えが最も多かった。

問10 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用してもよい(引き続き使用したい)と思えるのはどのような場合ですか。(複数回答)

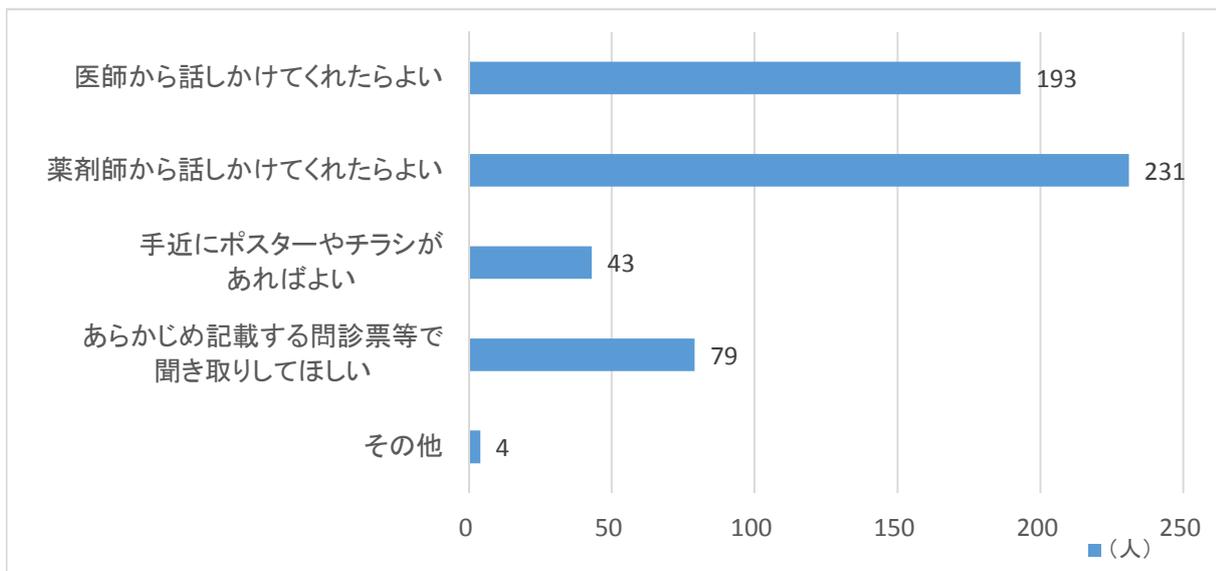
	人数
医師から勧められた場合	157
薬剤師から十分な説明を受け、納得した場合	153
後発医薬品(ジェネリック医薬品)の効き目や安全性が保障されている場合	170
経済的なメリット(負担額の減少)がある場合	114
後発医薬品(ジェネリック医薬品)は使いたくない	11
その他	5
合計	610



後発医薬品を使用してもよいと思えるためには、「後発医薬品の効き目や安全性の保障」「医師や薬剤師からの勧めや十分な説明」が重要であると考えている人が多いことがわかる。

問11 今後、あなたが医療機関や薬局でお薬について相談する場合、どうすれば相談しやすいですか。(複数回答)

	人数
医師から話しかけてくれたらよい	193
薬剤師から話しかけてくれたらよい	231
手近にポスターやチラシがあればよい	43
あらかじめ記載する問診票等で聞き取りしてほしい	79
その他	4
合計	550



薬のことは、医師や薬剤師から話すきっかけを作ってほしいと考えている人が多い。

自由記入の内容

問3 後発医薬品(ジェネリック医薬品)のことをどこでお知りになりましたか(その他回答)	
1	インターネット
2	学校や薬局実習で習った
3	会社の健保組合からの案内
4	もらっているの
5	学校
6	講義
7	友人から
8	医師から直接聞いた
9	市からの通知等
10	授業

問7 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使ったきっかけを1つ選んでください(その他回答)	
1	ドラッグストアで買った。
2	後発薬という説明はなかったが、処方された薬を調べたらジェネリックだとわかった。
3	処方箋にジェネリック医薬品が記載されていたと思います。説明は、薬が出されたときに薬局の方(薬剤師さん?)からされました。
4	初めから、それが処方されていた
5	薬の名前が変わっていたので、医師に尋ねると、「この病院ではこのジェネリックの薬しかないのですが、同じ薬ですから」と言われた。病院によっては置いてある薬がジェネリックであったりするようだ。
6	薬剤師さんから、そういう選択もあると紹介された。
7	薬剤師さんから説明を聞き自分で申し出た。
8	医師に指示されていた
9	診察券にジェネリック薬だとシールを貼っている
10	処方されたものを確認したら入っていた
11	はじめからジェネリックだった
12	親にカード渡された
13	震災でジェネリックしか手に入らなくなった
14	勧められてはいないがそうになっていた

問8 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使った際の感想についてお教えてください (その他回答)	
1	医療費が安くなった
2	一部については 効き目に問題があるのでは?と感じた
3	成分が同じなので効き目も同じはずですが、効き目が同じか悪いか判断できません。
4	値段が安い。慢性病(CKD)には助かる
5	薬によってはジェネリックだと効果が違う場合があると聞いているので、こちらの患者からは、ジェネリックにしてほしいとは言わないことにしているし、医師も忙しいからジェネリックの薬がありますなんて、医師から話したり説明したりすることは皆無である。
6	先発品では出なかった副作用が出たので同じものとは思えない
7	飲み比べたわけではないので特に何も問題はなかった
8	特に実感はない
9	なんとなくためしてみたかった
10	安い

問9 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使ったことがない主な理由は何ですか 最もあてはまるものを1つ選んでください(その他回答)	
1	ジェネリック医薬品を希望しても無いということが多い。流通している品数が少ないんじゃないでしょうか?
2	今まで、ジェネリックについて公立病院の医師から一度も説明されていないし、公立病院横の薬局も全く説明されない。これは、医師は税金について関知する必要が無く、薬局は儲け優先であるので、薬局には法令で「ジェネリック医薬品」の一定以上の販売を規定すればよい。
3	場合により理由は以下のように様々ですが、前者の場合がもっとも多いです。 ・医師に問いかけられなかったこと(自発的にジェネリックにしてほしいということは申し出ていない) ・今使用している薬(アレルギー)にはジェネリックがないという説明を受けたこと
4	病院に行っていないので処方薬は貰っていない
5	薬を飲まない
6	薬を使用する機会がなかったから
7	薬を飲んでいません

問10 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用してもよい(引き続き使用したい)と思えるのはどのような場合ですか(その他回答)	
1	効果に不安がある
2	悩むことがある
3	免疫力の高い者になら、いいと思う。
4	薬剤師から説明があれば、医師と同じレベルで使用する。とくに十分な説明や納得など特別扱いはしない。
5	分野, 分野により, あるいは試用して(一定期間)みることも必要です

問11 今後、あなたが医療機関や薬局でお薬について相談する場合、どうすれば相談しやすいと思えるのはどのような場合ですか(その他回答)	
1	薬剤師からの薬の説明はプライバシー面で大きな問題があると思います。
2	費用を我々も負担しているのだから、医師も薬剤師も我々が求めなくても色々と話しかけを行うべきである。現在の状況を見ていると、医師も薬剤師も我々が負担している費用に対して何もしていないと思う。 こちらから話しかけないと、何も話さない医師は、データのみをみて話しするだけ。薬剤師は薬を渡すだけ、共に国家資格を持ったものとして充分仕事をしていると感じられない。
3	こちらから話かけやすければよい

その他 自由記入欄の意見	
1	薬剤師からの薬の説明はプライバシー面で大きな問題があると思います。
2	いまいち分かりにくい事があり
3	この頃週刊誌等で薬についての記事をよく見かける。それによるとジェネリックについての評判が良くない。推奨するのであれば国からの正確なデータに基づく安全性等の保障が欲しい。利用者が納得しなければ安価と言うだけでは普及しないだろう。
4	ジェネリックは効果もあるし、満足しています。
5	ジェネリック医薬品について初めて知ったのは、薬局でもらったチラシでした。薬剤師からも説明があり、すんなり納得できました。偏見を無くす為には、正しい知識が必要ですが、信頼できる機関からの広告と信頼できる人からの説明があるとよいと思います。
6	ジェネリック医薬品の効果は使用者は判らない。健康診断や血液検査料金が安くなれば飲みながら検査を再々受けたい。
7	ジェネリック薬品は、安心安全だと理解はできているのですが、今までの薬品と変更をすることに抵抗があり、何度とお願いしていただいても変更をすることが出来ずにいます。
8	なかなか治療を受けている本人からすれば、ジェネリックに変更するよう申し出ることもしにくい状況にあります。なので、ジェネリックとそうじゃない処方されたものの服用をすることで、どのような点で治療する際に異なってくるのか?などについても医療機関で事前に告知するよう義務付けるようにしておけばいいのかと考えます。
9	もっと積極的に勧めてほしい
10	もっと薬剤師などが、積極的に患者に説明することで、保険会計を改善してほしい。

11	以前にも同じような調査がありましたね。 その時と今回の比較でどんな傾向がみられるか注目しています。
12	医療保護を受けている人には、全てゼネリック薬品を使うようにしてはどうですか。高止まりしている医療費・生活保護費を低くしていくには必要な措置と思います。
13	一部の週刊誌などで、ジェネリック薬品についての悪評を見かけることがあるが、本当に効果・効能や副作用などが先発薬と同等なのかが素人には判断できない。高血圧の薬を処方してもらっているが、このまま飲み続けても害がないのかわからない。
14	後発医薬品ではないものの、開発・認証の大変さを聞いているので安易には変えたくないと考えている
15	後発医薬品の使用を促進するためには、医師のからの勧めが一番です。
16	後発薬を注文する機会が無いと感じる。 他の商品と違って、医師や薬剤師の指導で医薬品を購入するのだから、一般の患者には、選択肢がないというのが課題だと思う
17	今のところ、病院に通っていないので、薬を処方してもらえないのですが、もし、いつか処方してもらうことになったら、ジェネリック医薬品の方が安いのならジェネリックにしようつもりです。安全性が確認されているのなら、少しでも安い方がいいからです。ただ、素人のこちらから、医師には言いにくいので、初診の時に、問診票などに、ジェネリックでもよい。というような項目を選べるようにしておいてくれると、自分の意志を伝えやすいです。
18	子供は乳児医療のおかげで今のところ、医療費の負担はありませんが、自分の薬だけでなく、子供の薬についてもこちらから医師や薬剤師に申し出てジェネリック医薬品にしてもらっています。 薬局でも初回に利用するときの記録表のときだけでなく、ジェネリック医薬品を希望するかどうかを定期的に問いかけてくれたらいいのと思います。 医師からの発言の方が、影響力はもっとあるとは思いますが。
19	自分から申し出るのは、辛い。自分の場合は、院外薬局の薬剤師から「どちらにしますか？」と聞かれ即答した。意思表示のカードを見たことはあるが、口頭で「受け答え」するには、周囲の目もあるので、言葉（会話）でなく、筆記式（○か×）でして欲しい。
20	社会保障費の増加が言われていると思います。後発医薬品の使用割合が8割をめざすとか。私も協力したい思いで、ジェネリック医薬品希望シールを被保険者証に貼っています。強制的に後発品を使用するなどある程度荒っぽい政策も必要に思いました。先発品が良いわけではないと思います。
21	同じ効能があるのであれば後発医薬品として区別する理由がわからない。すべてを後発医薬品で処方すべきである。
22	母が入っている介護施設では、年度初めの提出書類に後発医薬品の使用の可否を記入する書類が入っている。機能や安全性に問題なければ、その使用を勧めてもよいと思う。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師は かかり付けにしていますので何でも聞きます。週刊誌で見た事聞いた事先生にお聞きします。 ・ ジェネリックもテレビか新聞で知り先生にお聞きしました。それで納得して決めました。ジェネリックカードも頂き初めての病院は診察券と同じに出します。 ・ この頃薬剤師さんも（信頼している）利きます。いろいろと・・・

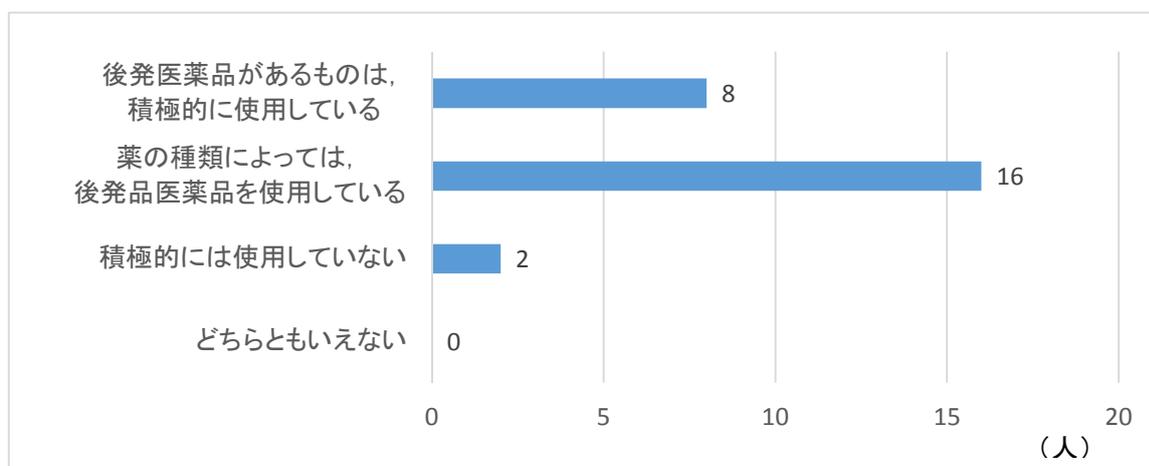
平成 28 年度後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート調査結果

実施期間：平成 28 年 11 月下旬～12 月下旬

対 象：一般社団法人徳島県医師会役員
 回答率 26 人／34 人（75%）

問 1 後発医薬品の使用について、どの様な方針ですか。

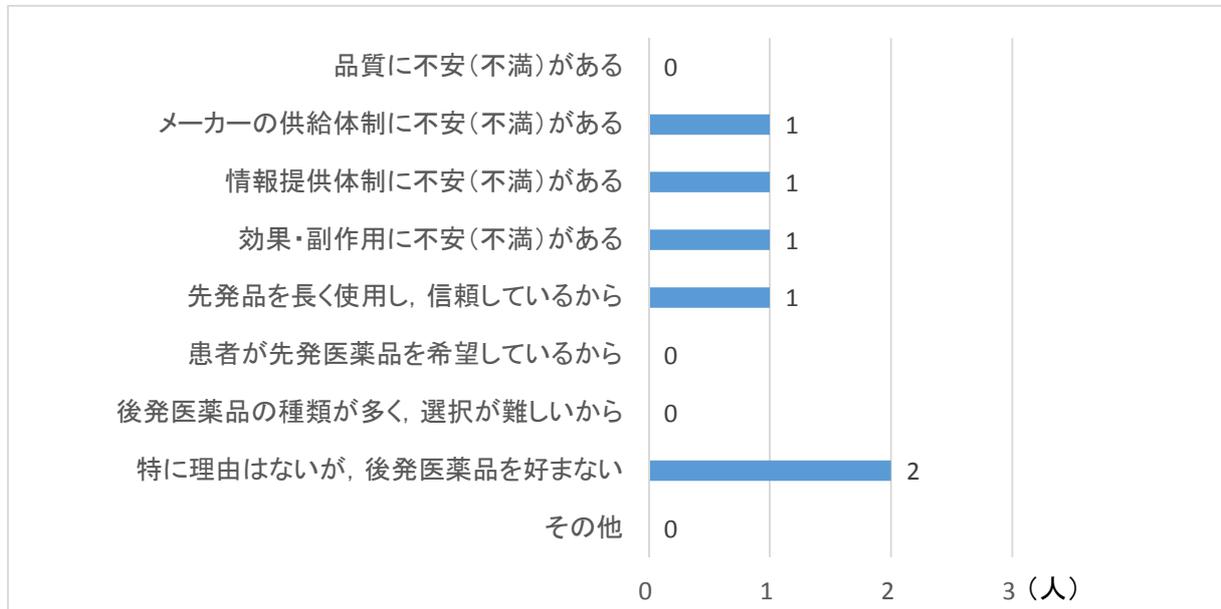
	人数	割合
後発医薬品があるものは、積極的に使用している	8	30.8%
薬の種類によっては、後発品医薬品を使用している	16	61.5%
積極的には使用していない	2	7.7%
どちらともいえない	0	0.0%
合計	26	100.0%



後発医薬品を「積極的に使用している」との回答は約 3 割であるが、「薬の種類によっては使用している」を含めると 9 割以上であり、ほとんどの医師が、後発医薬品を使用していると思われる。

問2 問1で「後発医薬品を積極的には使用していない」または「どちらともいえない」と回答した理由についてお教えてください。（複数回答可）

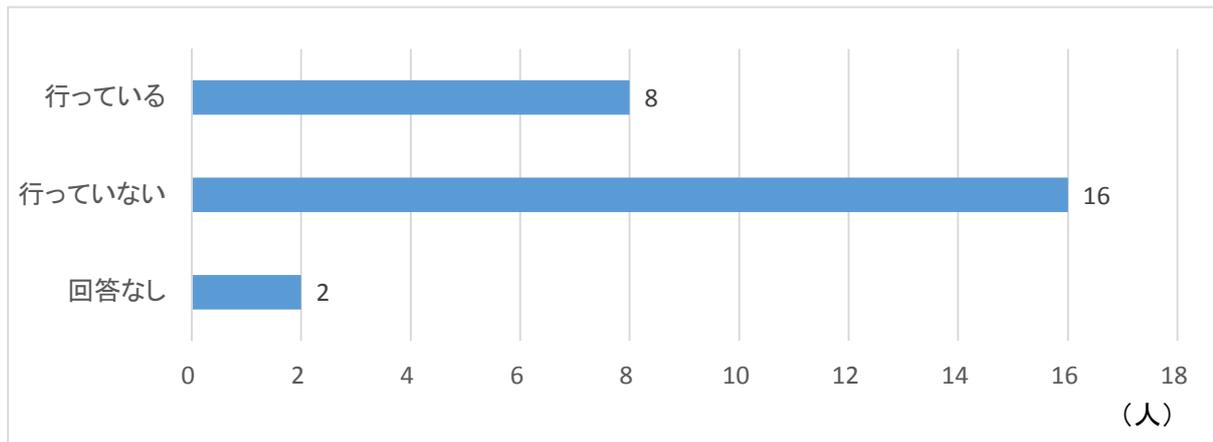
	人数
品質に不安（不満）がある	0
メーカーの供給体制に不安（不満）がある	1
情報提供体制に不安（不満）がある	1
効果・副作用に不安（不満）がある	1
先発品を長く使用し、信頼しているから	1
患者が先発医薬品を希望しているから	0
後発医薬品の種類が多く、選択が難しいから	0
特に理由はないが、後発医薬品を好まない	2
その他	0
合計	6



後発医薬品を積極的に使用していない理由としては、「メーカーの供給体制」「情報提供の体制」及び「効果・副作用」への不安や不満だけでなく、長く使用している先発品への高い信頼もあるようである。

問3 院内で後発医薬品使用促進策を行っていますか。

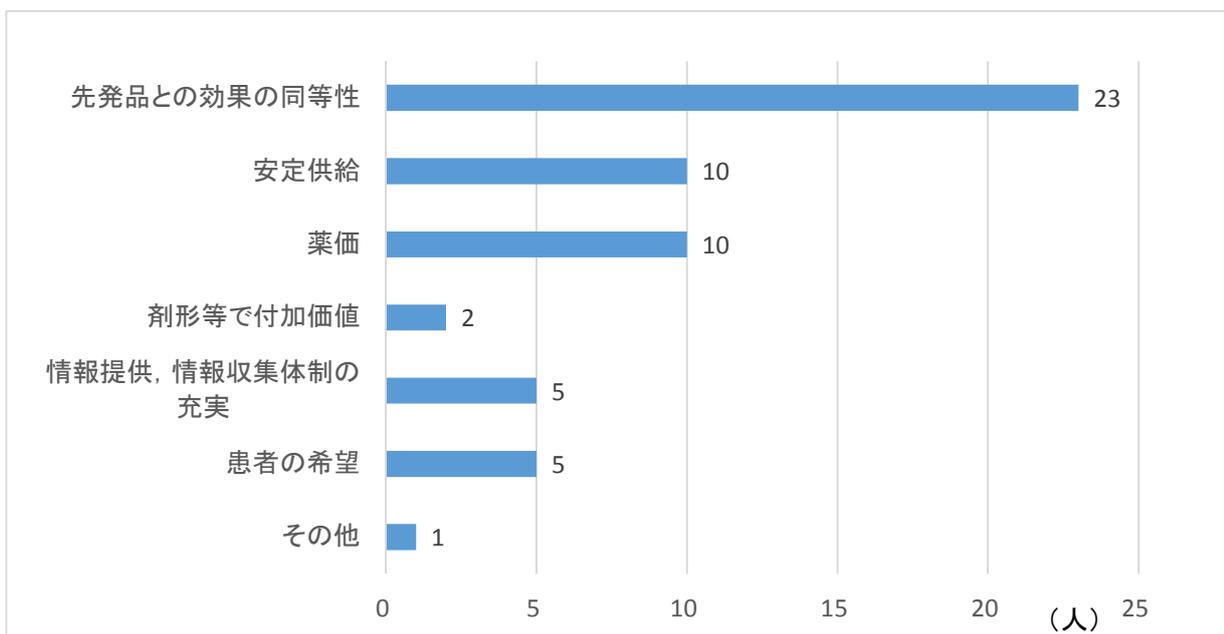
	人数	割合(%)
行っている	8	30.8%
行っていない	16	61.5%
回答なし	2	7.7%
合計	26	100.0%



後発医薬品使用促進策として、行っている具体的な内容は、「普及啓発用ポスターの掲示」「医局会での周知」「医師・看護師・薬剤師（院内）による詳しい説明」「採用医薬品の後発医薬品への切り替え」等である。

問4 後発医薬品の選定にあたって重要と考えることは何ですか。
上位2つを回答してください。(2つ以上記載の回答あり)

	人数
先発品との効果の同等性	23
安定供給	10
薬価	10
剤形等で付加価値がある	2
情報提供, 情報収集体制の充実	5
患者の希望	5
その他	1
合計	56

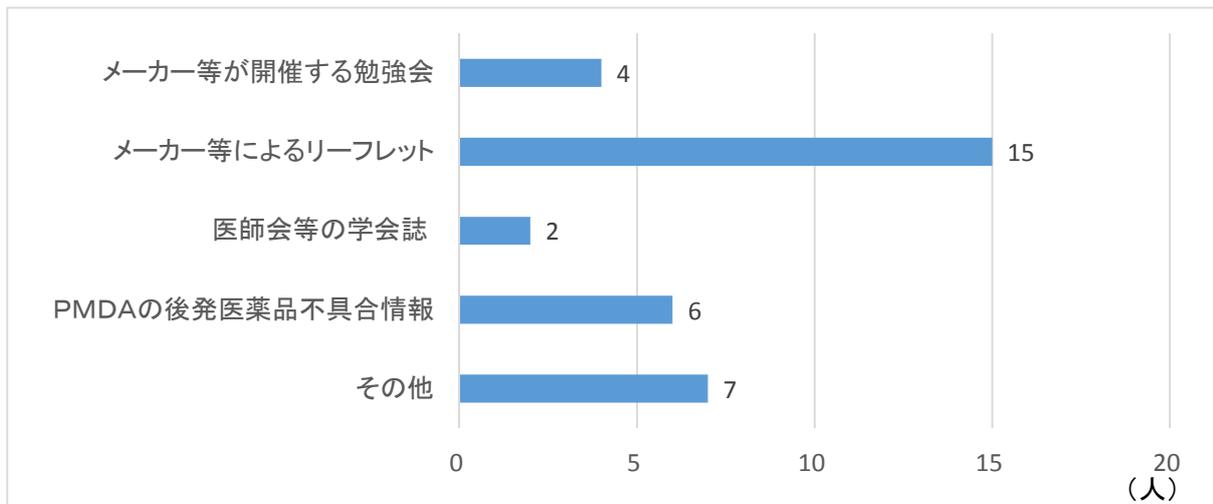


◆その他の意見「今まで途中で製造中止になった事があるので、売れなくなると製造をやめるのかな」

後発医薬品の選定にあたって最も重要なのは、「先発品との効果の同等性」、次いで、「安定供給」「薬価」であると考えていることがわかった。

問5 院内薬事審議会等で後発医薬品の選定にあたって、主に参考になっている情報は何か。(複数回答)

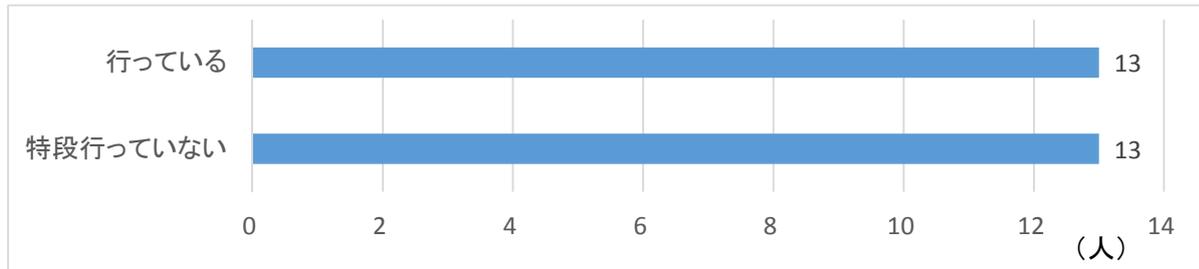
	人数
メーカー等が開催する勉強会	4
メーカー等によるリーフレット	15
医師会等の学会誌	2
医薬品医療機器総合機構（PMDA）の後発医薬品不具合情報	6
その他	7
合計	34



後発医薬品の選定にあたっては、「メーカー等によるリーフレット」を主に参考している医師が多く、医薬品医療機器総合機構（PMDA）の後発医薬品不具合情報については、3割程度、その他意見として口コミとの回答もあった。

問6 後発医薬品に関して患者への説明を行っていますか。

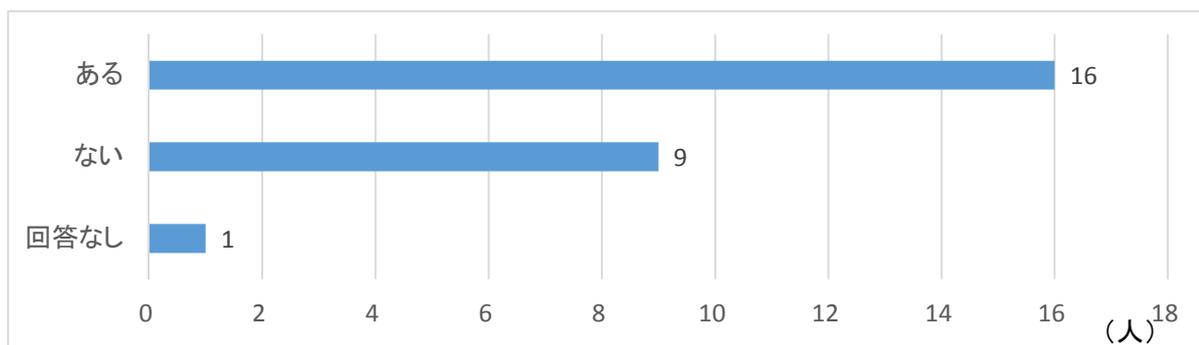
	人数	割合 (%)
行っている	13	50.0%
特段行っていない	13	50.0%
合計	26	100.0%



後発医薬品の説明を特段行っていないとの回答が半数あった。

問7 先発医薬品から後発医薬品へ変更した後、患者さんから不具合の訴え事例がありましたか。

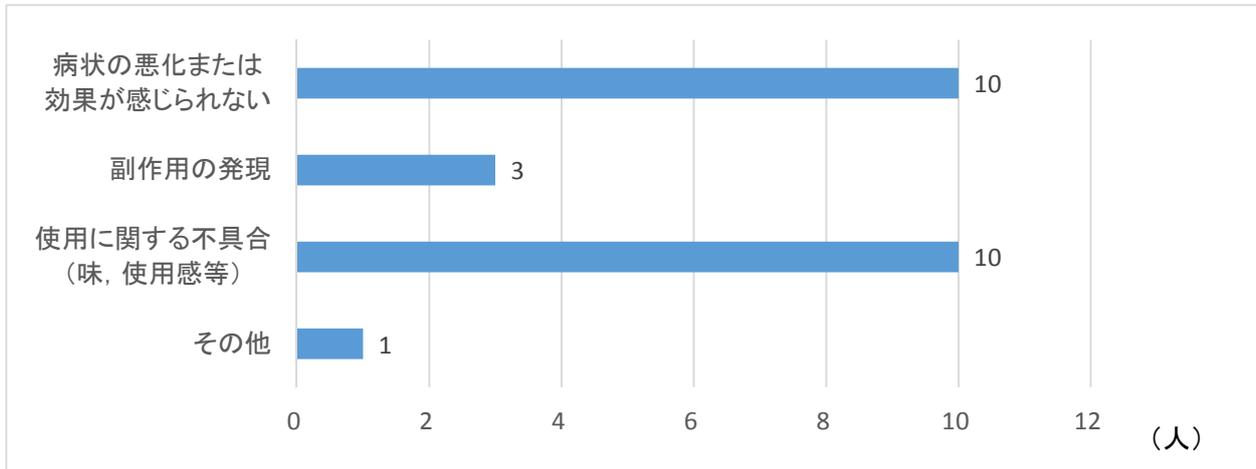
	人数	割合 (%)
ある	16	61.5%
ない	9	34.6%
回答なし	1	3.8%
合計	26	100.0%



先発医薬品から後発医薬品へ変更した後の患者さんから不具合の訴え事例を約6割が経験していることがわかった。

問8 (問7で「ある」とお答えした方へ)
 患者さんが不具合を訴えた理由は何ですか。(複数回答)

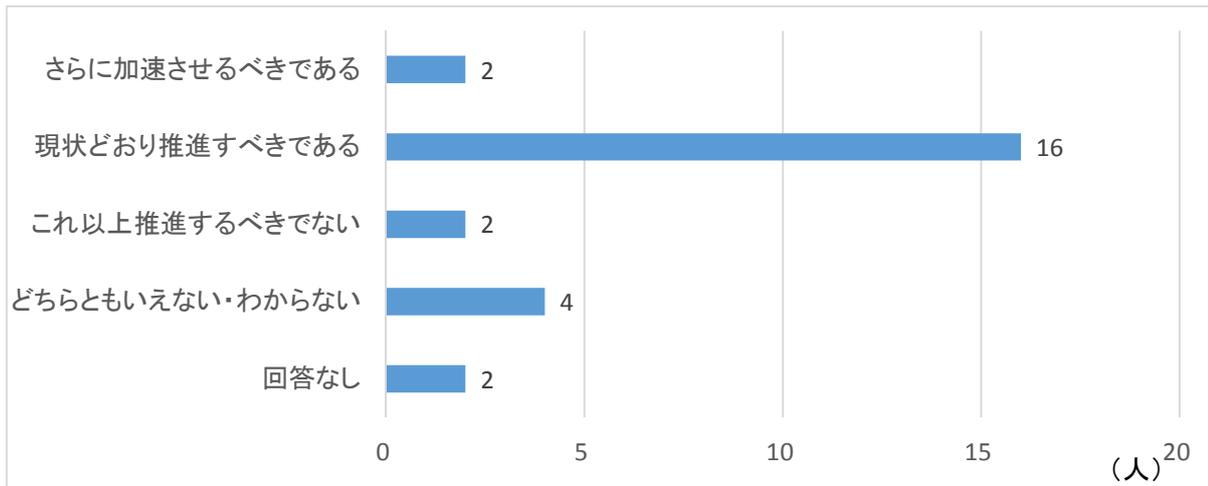
	人数
病状の悪化または効果が感じられない	10
副作用の発現	3
使用に関する不具合 (味, 使用感等)	10
その他	1
合計	24



患者さんが不具合を訴えた理由としては、「症状の悪化または効果が感じられない」「味や使用感等の不具合」が多い。

問9 後発医薬品の使用を促進する国の施策に対して、どのようにお考えですか。

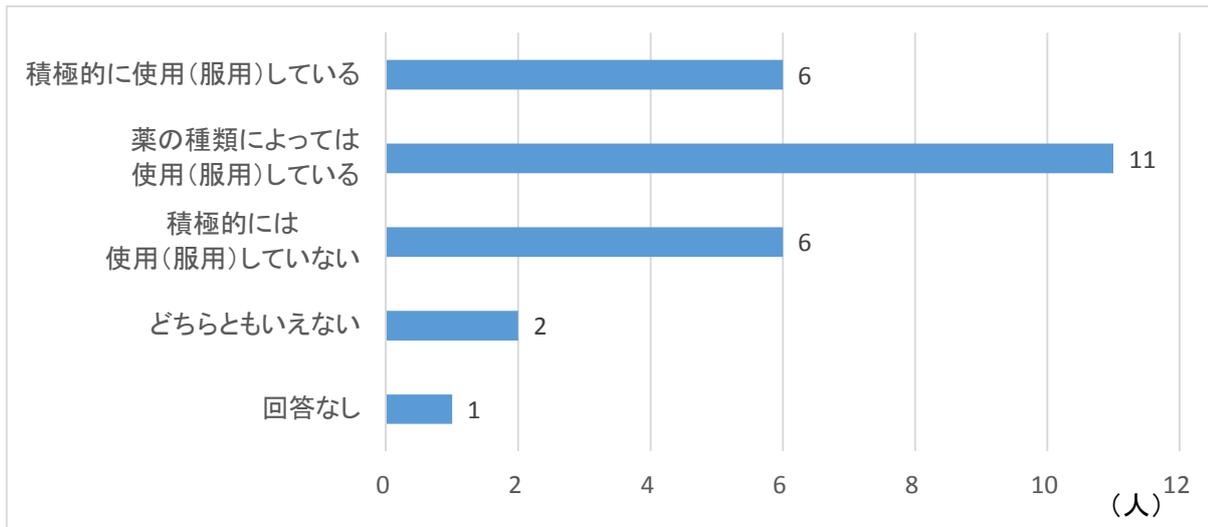
	人数	割合 (%)
さらに加速させるべきである	2	7.7%
現状どおり推進すべきである	16	61.5%
これ以上推進するべきでない	2	7.7%
どちらともいえない・わからない	4	15.4%
回答なし	2	7.7%
合計	26	100.0%



後発医薬品については、国の現状の施策を「さらに加速させるべき」と、「現状どおり推進すべき」であるとの意見を合わせると約7割であった。

問10 回答者ご自身が使用(服用)される医薬品は、後発医薬品ですか。

	人数	割合(%)
後発医薬品があるものは、積極的に使用(服用)している	6	23.1%
薬の種類によっては、後発品医薬品を使用(服用)している	11	42.3%
積極的には使用(服用)していない	6	23.1%
どちらともいえない	2	7.7%
回答なし	1	3.8%
合計	26	100.0%



自身が後発医薬品を積極的に服用しているとの回答は、3割未満であった。

自由記入の内容

問5 院内薬事審議会等で後発医薬品の選定にあたって、主に参考にしている情報は 何ですか(その他回答)	
1	情報はほとんどない
2	MSの口こみ
3	特になし。興味がないので
4	調剤薬局からの情報提供, 推進
5	先発品と後発品の適応症が異なる時があり, 先発しか採用できない時がある。
6	口コミ等

問8 患者さんが不具合を訴えた理由は何ですか(その他回答)	
1	ごく少数ではあるが効果がなく変更, 先発品にもどしてほしいと希望
2	他医療機関で先発品を服用するよう指導
3	時にあり, 大変面倒くさい
4	変更に伴う不安のことが多いと思われるが, 効果が不十分との訴えでもある

問11 後発医薬品の使用を促進するために薬局(薬剤師)へ求めることは何ですか	
1	薬局も積極的です
2	安定供給, 仕入れ価によって変更を頻回に行わない
3	薬剤師が変更した場合は薬局が責任をとる(副作用等にて) 薬局も患者さんを面として(点でなし) かかりつけ薬剤師となるべき
4	積極的に患者に勧めること
5	薬効費用の説明
6	効果は同等であることのていねいな説明
7	後発医薬品の紹介や情報提供を積極的に行ってほしい。
8	促進反対なので何もない。もっともっと後発品の薬価を下げしてほしい。
9	ていねいな説明, 先発品とジェネリックの差がないことを説明する必要がある
10	薬剤の安定供給(後発品に変更したが何回か処方した後に更に別の後発品に変更する許可を求めることがある)
11	患者への十分な説明
12	お薬手帳のシール印字はもっと大きくし, 現在何が調剤されているのかが一目でわかりやすいものにして欲しい。(忙しい外来時間帯で薬局毎に違う表記の細かい字を見るのは勘違いする等のリスクがあります)
13	患者さんが不安を抱かないように説明すること

問12 後発医薬品の使用が進むためには、どうすればよいと考えますか	
1	処方医に対する啓発が必要
2	後発医薬品メーカーが情報活動に力を入れるべきと思います
3	後発メーカーがより安全性・効果についてPRすべき
4	行政による制度設計（インセンティブを含め）
5	先発品でもある年数すぎた物は後発品と同等に薬価を下げるべき
6	後発品の（認定調査）を国ももっと積極的にすべき。 インド、中国の原料には不安あり、ジェネリックメーカーの充実をはかり、レベルアップすべき。 ジェネリック製造業者が多すぎる。
7	少なくとも半分以下の薬価、正規品の効能効果を後発品にすべて認めること
8	政府厚労省によりの広報
9	先発薬と保険適応が異なるものがある。保険審査で即減点とされる。追加病名、投与理由等の処置をとってもらいたい。金額的にはわずかであるが、このような対応をされるとジェネリック使用の意欲がなくなってしまう。
10	使用進めない方がよいと思う。開発の意欲がそがれるのでは…。
11	まずジェネリックを処方するように各医療機関に呼びかける。
12	同じ薬効で値段が異なることがおかしい。患者、医師に薬価を決める過程を充分理解してもらうことが一番
13	先発品の効果が同等供給体制の維持、患者さんへの周知など
14	患者の偏見、思い込みで使用促進出来ないケースがある
15	情報提供体制の充実。何をもちて同等と言っているのかをきちんと説明して欲しい。
16	先発薬品と後発薬品の薬価を同じにすればどうでしょうか

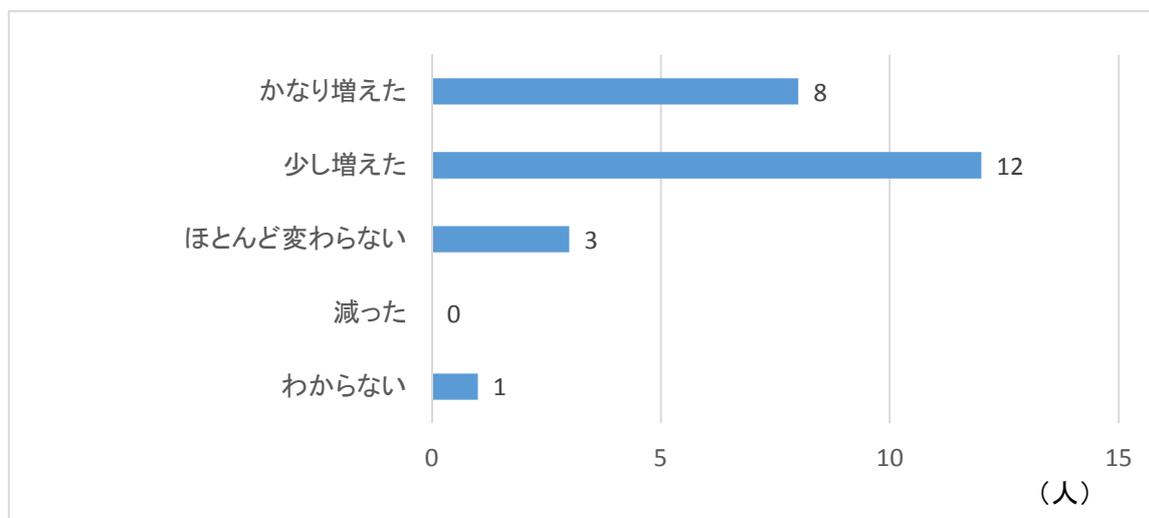
平成 28 年度後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート調査結果

実施期間：平成 28 年 12 月

対 象：一般社団法人徳島県薬剤師会役員
 回答率 24 人／37 人（65%）

問 1 後発医薬品の使用割合は前年度と比べて増えましたか。

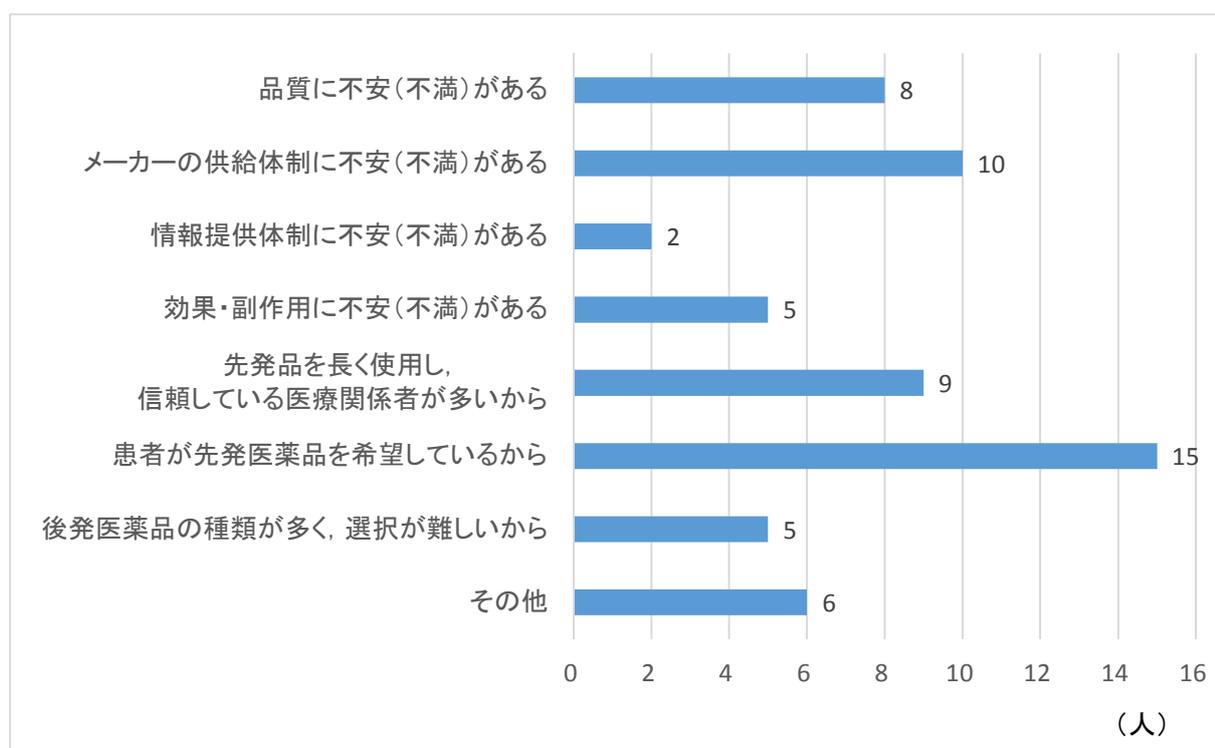
	人数	割合
かなり増えた	8	33.3%
少し増えた	12	50.0%
ほとんど変わらない	3	12.5%
減った	0	0.0%
わからない	1	4.2%
合計	24	100.0%



後発医薬品の使用割合は、前年度と比べて、「かなり増えた」「少し増えた」の回答を合わせると、8割以上であり、使用促進は図られている。

問2 後発医薬品の使用が進まない理由は何だと思いますか。（複数回答可）

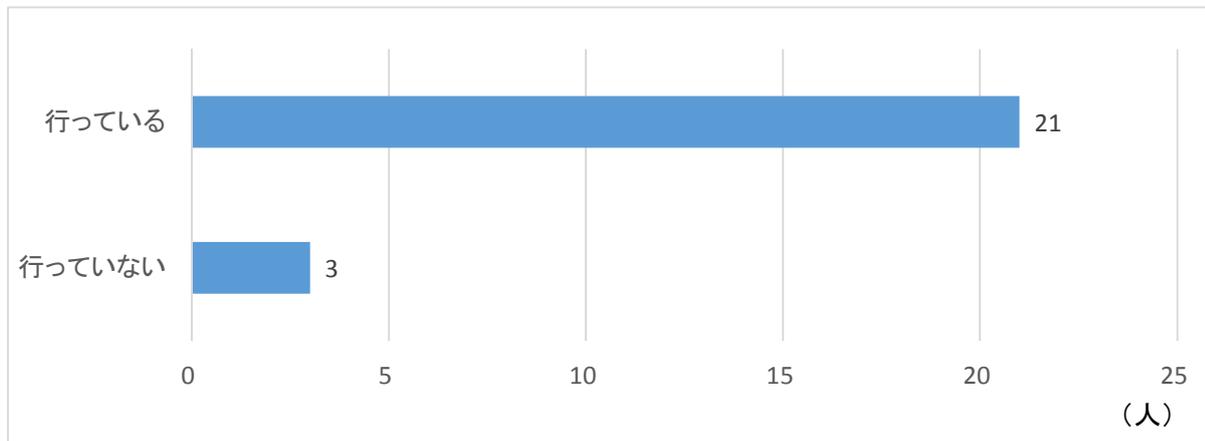
	人数
品質に不安（不満）がある	8
メーカーの供給体制に不安（不満）がある	10
情報提供体制に不安（不満）がある	2
効果・副作用に不安（不満）がある	5
先発品を長く使用し、信頼している医療関係者が多いから	9
患者が先発医薬品を希望しているから	15
後発医薬品の種類が多く、選択が難しいから	5
その他	6
合計	60



後発医薬品の使用が進まない理由として考えられているのは、「患者が先発品を希望しているから」が最も多い。
 次いで「メーカーの供給体制に不安（不満）がある」「品質に不安（不満）がある」という意見が多いが、長く使用している先発品に対する医療関係者の信頼が高いことも理由として考えている意見も多い。

問3 薬局内で後発医薬品使用促進策を行っていますか。

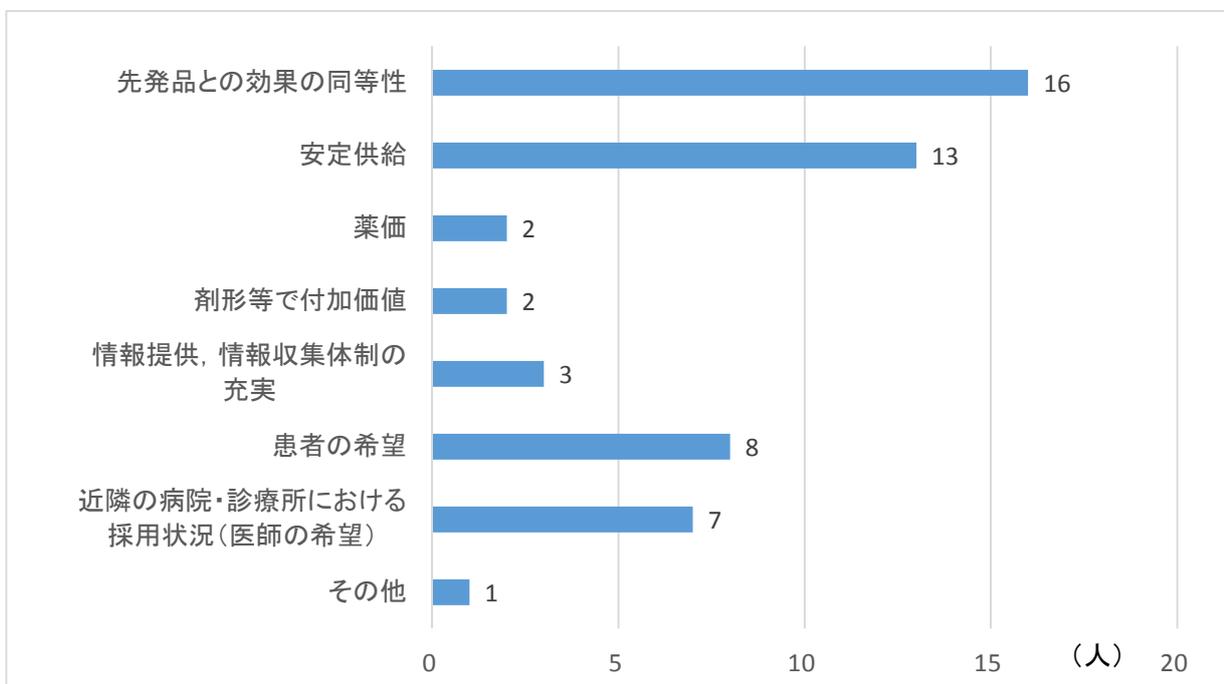
	人数	割合(%)
行っている	21	87.5%
行っていない	3	12.5%
合計	24	100.0%



後発医薬品使用促進策として、行っている具体的な内容は、「ポスター・パンフレット・ミニのぼり・希望カード等」の啓発資材のほか、「新規患者へのアンケート方式での先発薬、後発薬の使用に関する希望調査」「薬の金額の比較、効果の有効性などの説明」「先発希望者にも定期的に確認」「可能な限り、全てのケースで後発品使用の可否を確認している。その際、問題ないようなら、次回以後も後発品を優先して使用させてもらう旨の確認、同意もあわせてとっている」等である。

問4 薬局において、後発医薬品を採用するにあたって重要と考えることは何ですか。
上位2つを回答してください。(2つ以上記載の回答あり)

	人数
先発品との効果の同等性	16
安定供給	13
薬価	2
剤形等で付加価値がある	2
情報提供、情報収集体制の充実	3
患者の希望	8
近隣の病院・診療所における採用状況（医師の希望）	7
その他	1
合計	52

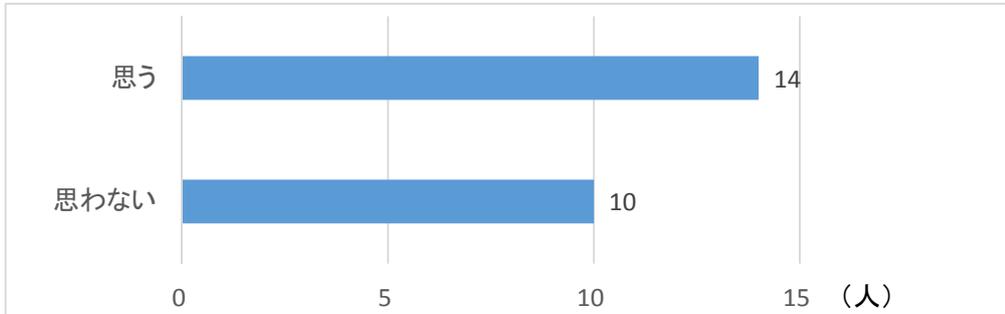


◆その他の意見「ジェネリック薬品にレをつけて変更不可をするDr. がいる」

後発医薬品の選定にあたって最も重要なのは、「先発品との効果の同等性」、次いで、「安定供給」である。また「患者の希望」「近隣の病院・診療所における採用状況（医師の希望）」も重要であるとの意見は3割程度である。

問5 後発医薬品に関する情報は、前年度より得やすくなったと思いますか。

	人数	割合 (%)
思う	14	58.3%
思わない	10	41.7%
合計	24	100.0%



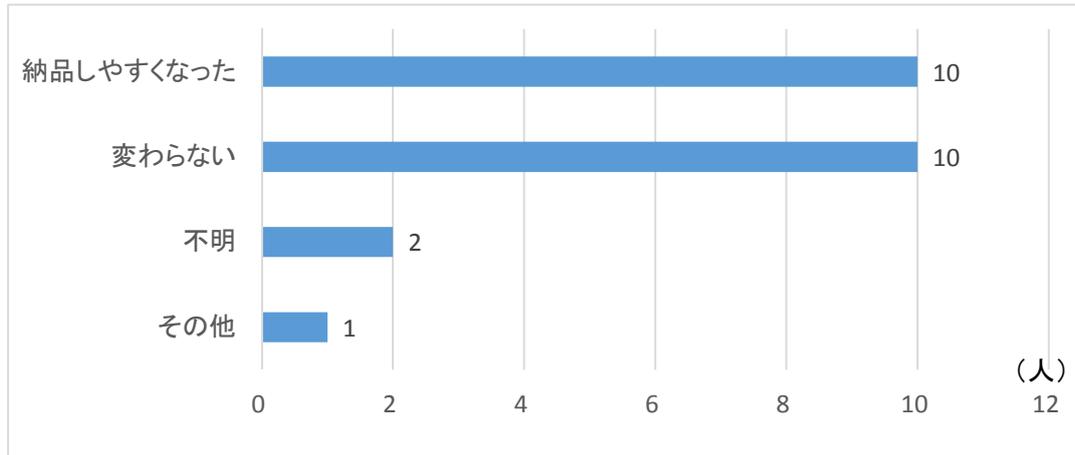
◆補足の意見

「メーカーが多くて医師がメーカーを指定して書くと患者が不可でなくてもそれを求め困難な時あり」

後発医薬品に関する情報は、前年度に比べて得やすくなっていると思うとの意見は、約半数であった。

問6 発注した後発医薬品は、前年度より速やかに納品されていますか。

	人数	割合(%)
納品しやすくなった	10	41.7%
変わらない	10	41.7%
不明	2	8.3%
その他	1	4.2%
回答なし	1	4.2%
合計	24	100.0%



◆その他の意見

「後発品はどのメーカーも供給不能だが先発品ならすみやかにいくらかでも納品できるというケースが散見する（カルボシステインなど）」

◆補足の意見

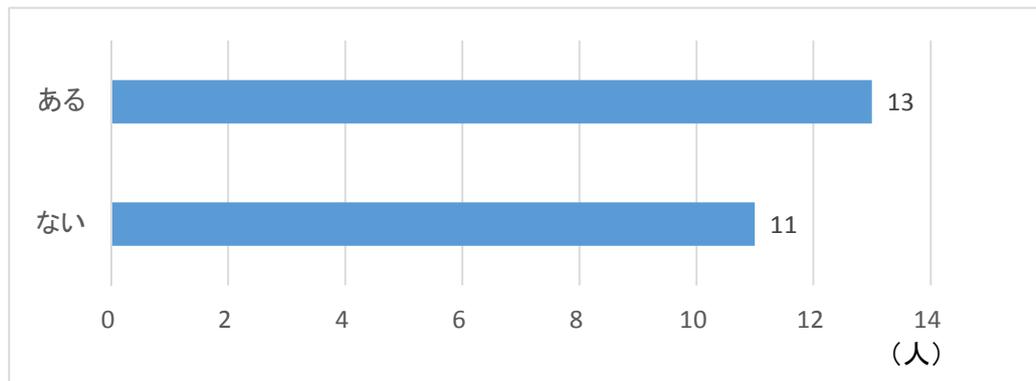
「卸によるが5日も待つものもあった」

「メーカーによっては一週間、ものによっては薬価より高く流通」

後発医薬品の納品体制については、「納品しやすくなった」と「変わらない」の意見が同数であった。

問7 先発医薬品から後発医薬品へ変更した後、患者さんから不具合の訴え事例がありましたか。

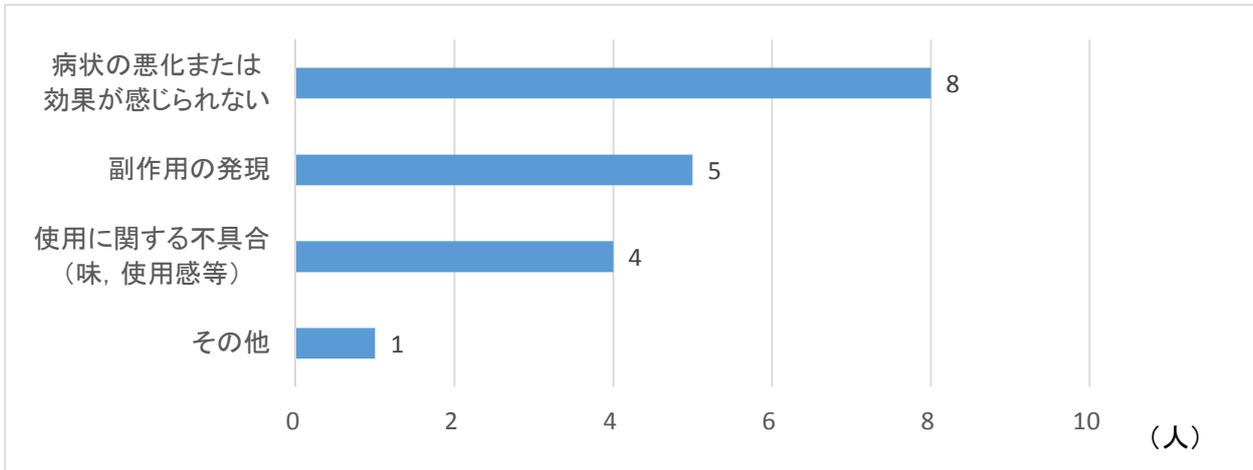
	人数	割合(%)
ある	13	54.2%
ない	11	45.8%
合計	24	100.0%



先発医薬品から後発医薬品へ変更した後の患者さんから不具合の訴え事例を半数以上が経験していることがわかった。

問8 (問7で「ある」とお答えした方へ)
 患者さんが不具合を訴えた理由は何ですか。(複数回答)

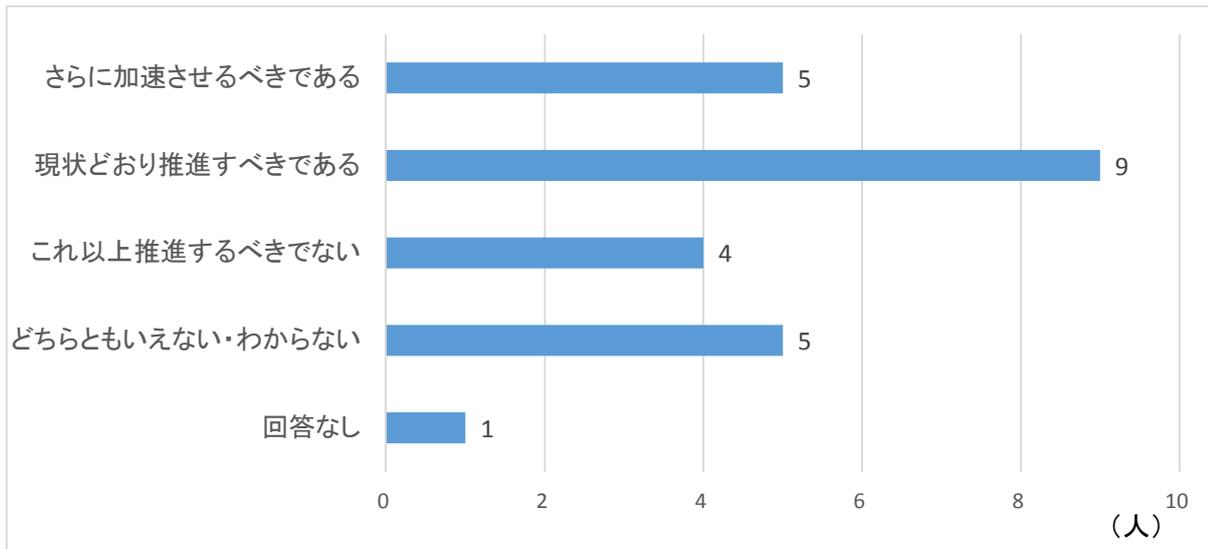
	人数
病状の悪化または効果が感じられない	8
副作用の発現	5
使用に関する不具合 (味, 使用感等)	4
その他	1
合計	18



患者さんが不具合を訴えた理由としては、「症状の悪化または効果が感じられない」が最も多いが「副作用の発現」も理由全体のうち3割近くある。

問9 後発医薬品の使用を促進する国の施策に対して、どのようにお考えですか。

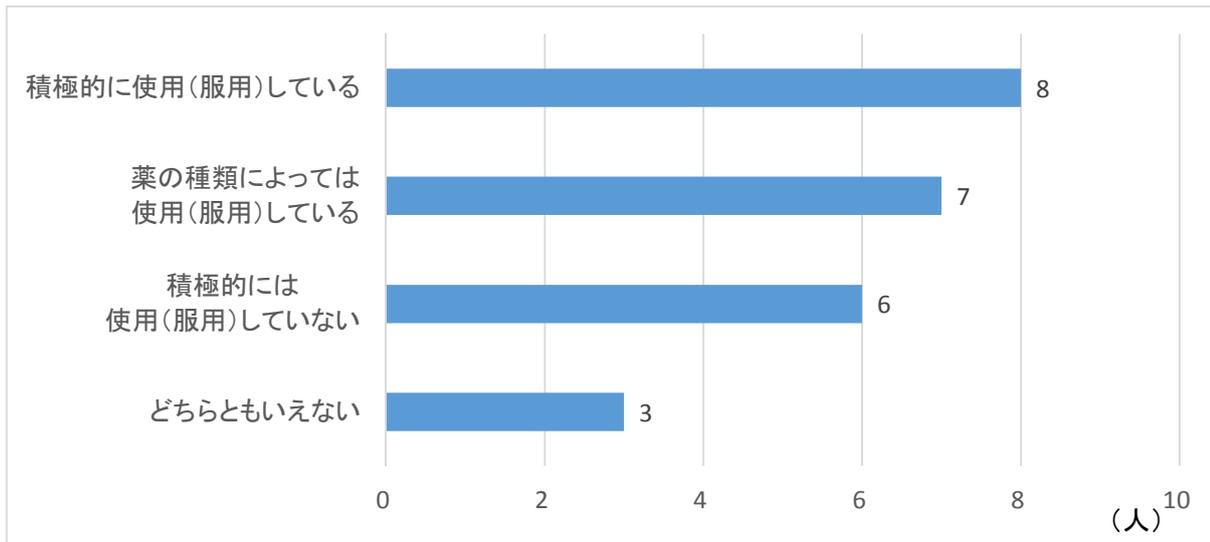
	人数	割合(%)
さらに加速させるべきである	5	20.8%
現状どおり推進すべきである	9	37.5%
これ以上推進するべきでない	4	16.7%
どちらともいえない・わからない	5	20.8%
回答なし	1	4.2%
合計	24	100.0%



後発医薬品については、国の現状の施策を「さらに加速させるべき」という意見が約2割の一方で、「どちらともいえない・わからない」との意見も約2割ある。

問10 回答者ご自身が使用(服用)される医薬品は、後発医薬品ですか。

	人数	割合(%)
後発医薬品があるものは、積極的に使用(服用)している	8	33.3%
薬の種類によっては、後発品医薬品を使用(服用)している	7	29.2%
積極的には使用(服用)していない	6	25.0%
どちらともいえない	3	12.5%
合計	24	100.0%



自身が後発医薬品を積極的に服用しているとの回答は、約3割であった。

自由記入の内容

問2 後発医薬品の使用が進まない理由は何だと思いますか(その他回答)	
1	生保等, 一部負担金がない方の受入がない
2	後発率が7割近くにもなってくると, 先発をはっきり希望したいという患者も多くなっている。大半がイメージ的なものであることが多いが, 差額があっても希望しないと拒否されればどうすることもできません
3	患者が不信感を持っている
4	Dr.が先発品を出し, 患者はDr.の出した薬を替えるのを嫌がる人が多い
5	ジェネリック医薬品不可という処方箋もある
6	モンテルカスト品薄・卸も薬局も棚が足りない
7	医師の考え方

問8 患者さんが不具合を訴えた理由は何ですか(その他回答)	
1	変更例が多いため, 全て見られる。他に, こちらの説明不十分もあり, 後発品を希望したが, 薬が変わる(商品が変わる)とは思ってなかったなどの不理解もある
2	一年に2~3例程いる

問11 後発医薬品の使用を促進するために病院・診療所(医師)へ求めることは何ですか	
1	一般名処方方の推進, 先発変更不可の理由併記
2	できるだけ一般名で処方願いたい。患者に対し, 病院・診療所(医師)から, 後発医薬品使用に関する啓発をお願いしたい
3	高令の医師の受入れ強化
4	ジェネリック医薬品の患者への説明
5	一般名処方方で記載して欲しい
6	後発医薬品名を処方箋に記せばよい
7	お薬は成分の名前で処方してある, 又は変更は自由なので薬局でジェネリックへの変更を相談してみるようにとの声掛けがあれば助かります。
8	一般名処方方の処方箋
9	お薬手帳を見ない(チェックしない)Dr.が多い
10	薬のことはすべて薬剤師にまかせる事
11	病院や医師がジェネリックについて患者さんにすすめてくれると患者さんは受け入れやすいと思う(高齢者)

12	処方箋を一般名で書いてほしい
13	処方箋の記入を一般名で記載してもらいたい
14	成分表示の処方箋の発行
15	ジェネリックも同じ効果ですよ！と云って欲しい
16	一般名処方の促進
17	一般名称での処方, 又は後発医薬品での処方
18	一般名処方の普及, 処方時のジェネリックへの配慮, 「処方時にジェネリックは効かない」「データがない等」のコメントをしない
19	薬剤師にまかせる
20	「医師に無断で薬を変えること」に抵抗を感じる患者さんが多いので一般処方名を推進するか, 薬局で相談してみるように話していただけるとよいと思います。

問12 後発医薬品の使用が進むためには, どうすればよいと考えますか	
1	一般名処方及び必要可能な場合の病名併記, 先発変更不可の理由併記
2	医療機関側, 患者双方に後発薬使用の意義, メリットなどの啓発活動の徹底
3	先発品よりも改良された後発品を開発すること
4	一般名は後発のみの推進, 最初から後発を多く入れた処方とする。
5	急にすすめようとするとう患者の反発があると思う。
6	義務化
7	薬価収載品を後発医薬品名に一本化すればよい。
8	先発品を希望する場合にアレルギーが出るなど正当な理由が処方箋に明記ない場合は, 代表的な後発品との差額を保険負担から除外するよう(差額分を自己負担)させるよう改訂するのはどうか? 後発品がもはや一般的で安心できるもの, さしつかえないものというイメージ広告(TVやネット・新聞など)を併せて強化してほしい。
9	流通, 薬の効果を良くしてほしい。
10	製薬メーカーが多すぎる。製造元が同じなのに何社ものメーカーの発売となっていたりもって, どれかにまとめよ!
11	薬剤師による積極的な推進
12	医師がジェネリックを出すこと, メーカー違いを出した場合へのHPへの報告など手間がかかるので薬局での手間がもう少し省ければいいと思います。
13	先発と同等性を説明するパンフレットがほしい。
14	後発医薬品, 先発医薬品の選択は処方箋を一般名にして薬剤師にまかせるべきである。
15	医療従事者の啓蒙
16	一般名での処方箋が増えること

後発医薬品に係る講習会実績（平成28年度）

H28.12.31現在

	年月日	講座名	主催	対象者	人数	保健所名等
1	H28.6.6	薬のおはなし	美馬市(男性のいきいき料理教室)	地域住民	20	美馬
2	H28.6.30	出前講座(「薬の正しい飲み方・使い方」内で後発医薬品について紹介)	飯尾敷地地区社会福祉協議会	地域住民	45	吉野川
3	H28.8.23	薬の正しい飲み方・使い方	永尾病院	医療関係者	15	美馬
4	H28.9.30	出前講座(薬いろいろ薬立つ話)(出前講座)	徳島県シルバー大学校大学院OB会	同会会員	95	徳島
5	H28.10.20	くすりの使用についての豆知識	徳島県シルバー大学校(鳴門校)	シルバー大学校	48	薬務課
6	H28.10.26	出前講座(薬いろいろ薬立つ話)(出前講座)	神山町教育委員会	神山町成人大学	38	徳島
7	H28.10.30	市民公開講座「ジェネリック医薬品を正しく知って上手に利用してみよう」	徳島県くすり与健康フェア	県民	54	薬務課
8	H28.12.9	地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割	美馬市美馬郡薬剤師会	薬剤師等	35	美馬
9	H28.12.9	くすりの使用についての豆知識	徳島県シルバー大学校(徳島校)	シルバー大学校	215	薬務課
10	H28.12.13	くすりの使用についての豆知識	徳島県シルバー大学校(美馬校)	シルバー大学校	37	薬務課

計 602